

## そっくりくん®接着剤施工要領書

オーサカゴム株式会社

### 使用場所

- そっくりくん®「以下マット」は基本的に屋内での使用を想定しております。
- 屋外使用する場合は、退色、変色が発生します。



### 施工前保管方法

- マットは、雨水に濡れると接着に影響あるため、室内で保管して下さい。
- マットは、退色、変色のおそれがありますので、直射日光を避けて保管して下さい。
- マットは、平らなところで均一に重ねて保管して下さい。

### 下地の処理

- 下地は、モルタルコンクリートを基準としています。
- 下地は、接着の障害になるような凸凹、段差がないように前処理して下さい。
- 油分、ごみ、ほこり、水分を取り除いて乾燥した状態で施工して下さい。
- 鋼板や樹脂等の下地は、表面を摩耗ブラスト処理等で目粗した上で、接着を行なって下さい。

### 接着剤

- 弊社からは、トーヨーポリマー(株)製「ルビロン®R」をお薦めします。「以下接着剤」

※当該接着剤は、ウレタン樹脂系接着剤です。

ウレタン樹脂系接着剤は、空気中の水分と反応して硬化しますので、水分が混入しないよう注意して下さい。



- 接着剤は、付属のクシ目ゴテ(標準塗布量:350g/m<sup>2</sup>)にて、下地面に塗布して下さい。
- 施工するときの外気温は、5℃~35℃として下さい。
- 接着剤を塗布した後、下の表を目安としたオープンタイムを取り、材料を貼り付けて下さい。
- オープンタイム・貼り付け可能時間(ルビロン®Rの場合)

季節	オープンタイム	貼り付け可能時間 (オープンタイム後)
夏 (25~35℃)	10分	35分
春・秋(15~25℃)	15分	35分
	10分(冬タイプ)	30分(冬タイプ)
冬 (5~15℃)	20分(冬タイプ)	40分(冬タイプ)

※下地の状態、気温や湿度、風通しによって変わります。

冬タイプは、ロットの末尾にW記載しています。

その他、使用上の注意事項は、接着剤カタログ及び SDS をご参照下さい。

- 接着剤が身体、衣服に付着した場合、すぐにシンナーをウェスに含ませて拭き取って下さい。
- 接着剤は、引火性固体(危険等級Ⅲ)に該当します。火気には十分注意して下さい。

### 施工手順(ルビロン®R使用例)

- 下地面のほこり、砂、水を除去して下さい。
- 木目調柄は、木目方向にて並べて敷きつめて下さい。
- 敷地の中央からタイル張りと同様、センター割り付けをして確認して下さい。
- 端部の余剰分は、定規とカッターで材料をカットして下さい。
- 接着剤は、材料を半分から 2/3 めくり、塗布して下さい。ごくわずかな 1 m<sup>2</sup>程度の施工面積であれば、あらかじめ接着剤を塗布して下さい。
- くし目コテで丁寧に均一に塗布します。
- 前項のオープンタイムを目安に乾燥時間を設けて下さい。
- マットを貼付け、十分ローラーで転圧をかけて下さい。接着後、24 時間程度は、歩行等使用しないで下さい。
- 余分な接着剤は、ウエスで取り除いて下さい。  
※詳細な施工方法は、ルビロン®R 施工マニュアルをご覧ください。

### メンテナンス

- 汚れが目立つ場合、中性洗剤等を用い、柔らかいデッキブラシ等で洗浄して下さい。
- 雨等の水分が多量にありますと歩行中、転倒する場合がありますので、水分を速やかに取り除いて下さい。
- ライター、マッチ、タバコの火がつかないように、ご注意下さい。

### 施工例



施工前



施工後